

平成23年度岡山大学入学式及び大学院入学式 式辞

本日、ここにご来賓ならびにご家族のご臨席をいただき、学部学生2,441名、大学院学生1,149名、総計3,590名の新入生の皆さんを迎えて平成23年度岡山大学入学式を行いますことは、本学にとりまして、大変喜ばしいことであります。

皆さんはこの岡山大学を学ぶ場として選び、長年にわたる努力の末に、難関を乗り越えて今日の日を迎えられました。岡山大学を代表しまして、心からのお祝いと、歓迎の意をお伝えしたいと思います。

皆さんが入学される今年は、特別な年となりました。3月11日の東北・太平洋沖の大地震とそれに伴う大津波であります。死者・行方不明者は数万人、破壊された家屋は数十万戸、被災者は数百万人にも及び、壊滅的打撃を受けた原子力発電所は未だに解決の道筋さえ明確ではありません。1923年の関東大震災、1995年阪神大震災をはるかに超えて、まさに数百年に一度というべき天災に遭遇したのであります。私はなによりもまず、ここにお集まりの皆さんとともに、この大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。

今回の大地震と大津波で、日本は社会そのものの存続さえ危ぶまれる状況に追い込まれています。私たちは今こそ心を一つにして、被災者の生活再建と被災地の復興を支援すると同時に、この大惨事を一つの契機として新たな国のかたちというものを作り上げていく覚悟を固める必要があります。

今回の大震災と原発の事故に際しては、「想像を超えた」という言葉が多く聞かれました。しかしこのような“言い訳”でことを済ましてはならないのであります。科学・学問の未完成、政治・行政が本来果たすべき役割の不備、そして知を創造し社会に提供すべき私たち大学人の無力を、あらためて噛み締める必要があります。私たち人類社会は、有史以来たゆまない知的創造を重ね、それを継承しその努力により多くの問題を解決してきました。しかし、21世紀の現代に至っても、大自然の大きな力の前では、人はまだまだ力不足だったのです。人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。この危機を解決できるのは高い「知の創造」以外にありません。それが今日、入学を果たされた皆さんの責務であります。

岡山大学の理念は「高度な知の創成と的確な知の継承」であります。公的な知の府として、高度な知の創成(つまり研究活動)と的確な知の継承(つまり教育と社会還元)を通じて人類社会の発展に貢献する使命を持っております。皆さんが選んだ岡山大学は11学部、7大学院研究科を備え、今日皆さんを迎えて、約14,000人、留学生約570人を擁して、知的創造にとり組む、日本屈指の総合大学であります。この岡山大学を学ぶ場として選んだ以上、高い使命感を持って知の創造に参画し、

少しでも人類社会の平和に貢献する気構えを持っていただきたいと思います。それが今日、入学を果たされた皆さんの役目であります。

先の甲子園、選抜高校野球大会で岡山選出の高校生がすばらしい、心を打つ宣誓をしました。

今回の災害に対して、彼は「人は仲間に支えられることで大きな困難を乗り越えることができる」とのべ、さらに「生かされている命に感謝し」と述べました。「生きている」ではなく「生かされている命」、この大きな自然の力の中では、私たちの命は「受け身」でしかなかった大災害での印象を見事に表現すると同時に、人の絆の重要性をあらためて指摘しています。

私は医師として、多くの生と死にかかわりを持ってきました。「生」は「死」より遙かに不思議な自然現象です。人はどのように頭で考え、どのように記憶し、どのように話すのか、どうして手・指の筋肉は正確に動き、なぜ心臓は一定のリズムで拍動するのか、不思議です。私の専門である麻酔科学でも、麻酔薬の吸入で何故、脳細胞は麻酔状態になり手術が可能になるのか、現在でも科学的に解明されていません。

私は何よりこのような神秘的な「生きること」自体に価値があると思っています。さらにどう生きるかがあなたがたの生きた価値、人生の価値を決めていくのです。

岡山大学は共に生きる、「共生」を理念に掲げています。皆さんは大学生活を通じて多くの仲間を作ってください。そのためにはまず自分自身が魅力ある人間にならなくてはなりません。魅力ある人間とは、人を引きつける人間とは何かを是非考えていただきたいと思います。

アメリカ合衆国、第35代大統領ジョンF. ケネディーは数々の名演説を残しましたが、中でも1961年1月20日の就任演説はあまりに有名です。

“ My fellow Americans/ Ask not/ what your country can do for You/-Ask what you can do for your country.”

国や社会、あなたをとりまく環境が、あなたに何かをしてくれるのかと問いかける前に、あなた自身が、社会や家族に対して何ができるのかを考えてほしいと訴えました。

私は、この一節が大好きで、私の教訓にしてみました。

魅力ある人間とは、自分の「生かされている」環境、自分の置かれた環境は自分で作り上げ、他人のせいにせず、他人の悪口は言わず、人のために努力する人間と 생각합니다。このことが人の輪を広くし、深くするのであります。

私を含め、すべての岡山大学教職員は、今日ここに、新たに仲間に加わった新入生の皆さんとともに、この岡山大学を限りなく美しい大学、岡山の地にあって世界に輝き、魅力にあふれた総合大学に作り上げる決意であります。

私は岡山大学の卒業生であり、岡山大学で学んだことをこの上なく誇りに思っています。今日ここに、その誇りを共有するべく集まった皆さんに、こころから期待をこ

めてメールを送り、お祝いの言葉としたいと思います。
おめでとうございます。

平成23年4月8日

国立大学法人 岡山大学長
森 田 潔